

主催：NPO 法人 石川県自然史センター
第 32 回公開シンポジウムのご案内

テーマ：「感染症～水と環境の視点から～」

寒波襲来の折ですが、皆様方におかれましてはますますご清祥のことと存じ上げます。

2019 年末に始まった新型コロナウイルスによるパンデミックは世界全体に多大な影響を及ぼし、日本を含め各国に甚大な社会的、経済的打撃を与えてきました。小さな生命体であるウイルスあるいは細菌が人間生活を脅かす事態を起こすことはペスト、スペイン風邪にもみられるように歴史的にもよく知られている事実ですが、この 3 年間のコロナ禍で改めてその怖さを実感させられました。今回のシンポジウムのテーマには、そうした身近に起こる感染症の実態について、さらに地球全体に生じている地球温暖化のような気候変動とどこかでつながっているという事例が明確になってきている点も考えあわせ、テーマに「感染症～水と環境の視点から～」を掲げました。

今回は水を中心とする感染症関連と公衆衛生分野を核とする内容で基調講演（安田直史氏）をしていただき、地球温暖化に伴う世界的環境変化、各地域への影響、感染地拡大についても話題提供（永井三岐子氏、倉本早苗氏）を依頼しているところです。提供いただいた事例を基にパネルディスカッション（座長 竹上勉）を行います。

皆様には気軽に参加していただき、活発な話し合いができる事を期待しております。

参加自由 入場無料

日 時 令和 5 年 2 月 25 日(土) 午後 2 時～4 時（受付開始 午後 1 時 30 分）
会 場 石川県立自然史資料館 2F コミュニケーションホール

基調講演講師 安田直史（近畿大学教授）

タイトル：「人と感染症のなが～いお付き合い」

パネリスト 倉本早苗（石川県保健環境センター 健康・食品安全科学部 部長）
永井三岐子（ほくりくみらい基金）

座 長 竹上 勉（石川県自然史センター副理事長、ウイルス自然史研究会）

会場アクセス：石川県立自然史資料館

（金沢市銚子町 441 番地）

<バス利用の場合>

「銚子口」「北陸大学太陽が丘」下車

どちらからも徒歩約 10 分

お問い合わせ TEL：076 - 229 - 3450

E-mail：info-c@n-muse-ishikawa.or.jp